

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【公開番号】特開2019-78720(P2019-78720A)

【公開日】令和1年5月23日(2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2019-019

【出願番号】特願2017-208077(P2017-208077)

【国際特許分類】

G 01 W 1/00 (2006.01)

G 01 B 11/06 (2006.01)

G 01 W 1/14 (2006.01)

【F I】

G 01 W 1/00 J

G 01 B 11/06 H

G 01 W 1/14 Q

G 01 W 1/14 B

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月9日(2020.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

制御ユニットは、例えばCPUやメモリ(RAM、ROM)等のコンピュータに必要なハードウェア構成を有する。制御ユニットとして、例えばFPGA(Field Programmable Gate Array)等のPLD(Programmable Logic Device)、その他ASIC(Application Specific Integrated Circuit)等のデバイスが用いられてもよい。通信ユニットとしては、例えば任意の無線モジュール等、任意の構成が用いられてよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

また本実施形態では、雪氷情報生成部32により、所定の機械学習アルゴリズムに従つて雪氷情報が生成される。例えばRNN(Recurrent Neural Network:再帰型ニューラルネットワーク)、CNN(Convolutional Neural Network:畳み込みニューラルネットワーク)、MLP(Multilayer Perceptron:多層パーセプトロン)等のDNN(Deep Neural Network:深層ニューラルネットワーク)を用いた機械学習アルゴリズムが用いられる。その他、教師あり学習法、教師なし学習法、半教師あり学習法、強化学習法等を実行する任意の機械学習アルゴリズムが用いられてよい。